

株式会社アバーलデータ 第58期定時株主総会

2017年 6月 23日

スクリーン



河合 かわい
 嶋村 しまむら
 菊地 きくち
 仲山 なかやま

芳道 よしみち
 清 しみず
 豊 ときよし
 典邦 ゆたか のりくに

社外取締役

取締役

常務取締役

常務取締役



広光 ひろみつ
 大塚 おおつか
 金子 かねこ
 金澤 かねざわ

勲 いさお
 忠彦 ちかひこ
 健紀 たけのり
 健一 たけいち

代表取締役社長

常勤監査役

社外監査役
 独立役員

社外監査役

発行可能株式総数

23,500,000株

発行済株式総数

7,417,842株

株主数

2,555名

議決権を有する株主数

2,440名

その議決権数

60,661個

監査役会の監査報告書 謄本

監 査 報 告 書

当監査役会は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第58期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

(1) 監査役会は、監査の方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2) 各監査役は、監査の方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。なお、金融商品取引法上の財務報告に係る内部統制については、取締役及び有限責任監査法人トーマツから当該内部統制の評価及び監査の状況について報告を受け、必要に応じ説明を求めました。

③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」(会社計算規則第131条各号に掲げる事項)を「監査に関する品質管理基準」(平成17年10月28日企業会計審議会)等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する取締役の職務の執行についても、財務報告に係る内部統制を含め、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

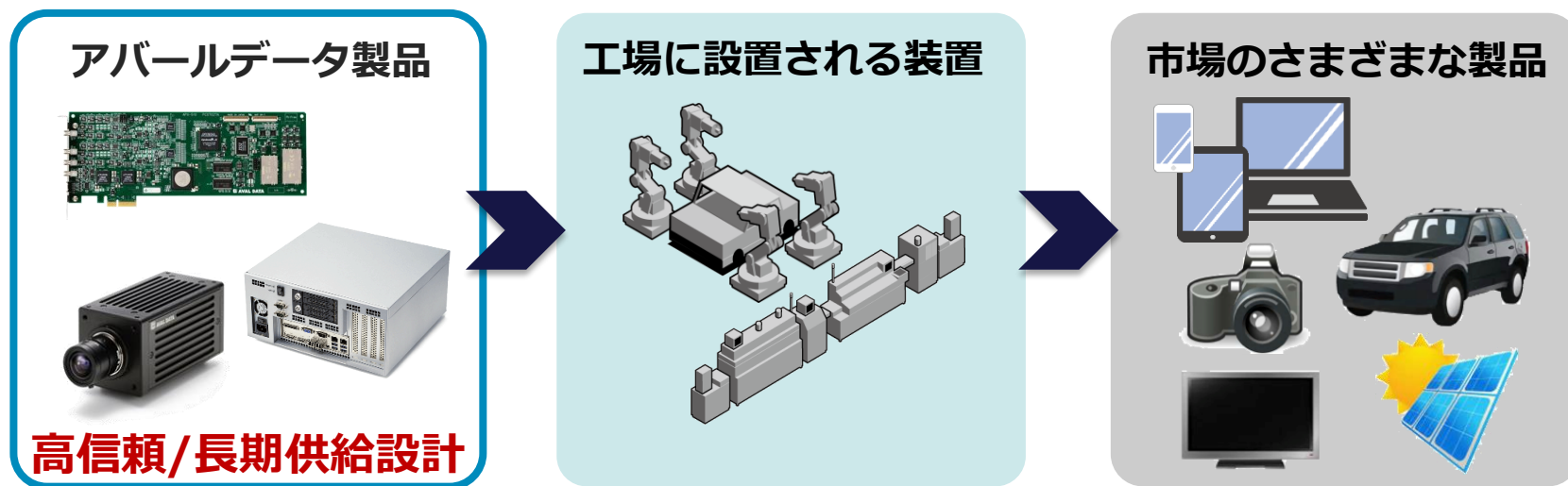
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成29年5月22日

株式会社アバールデータ監査役会
 常勤監査役 大塚 忠彦 ㊟
 社外監査役 金子 健紀 ㊟
 社外監査役 金澤 健一 ㊟

以上

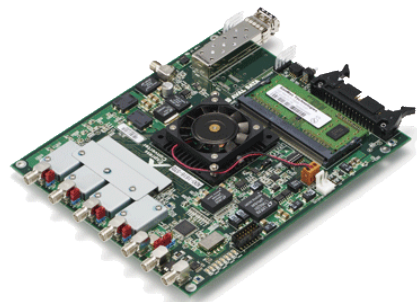
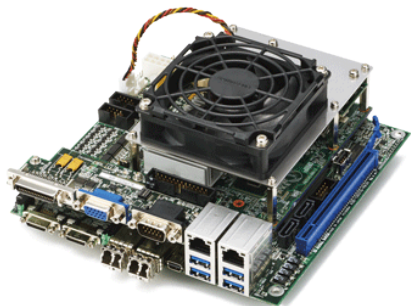
アバールデータは
工場などで使われる装置へ**組込む**
モジュール（部品）を提供しています。



日本のモノづくりの縁の下の力持ち

組み込みモジュール

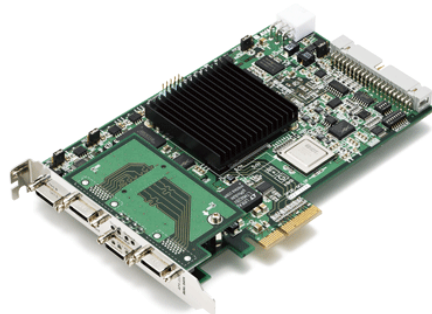
組み込み分野で業界を
リードする技術と製品



産業用ロボット、計測・通信機
で活躍しています。

画像処理モジュール

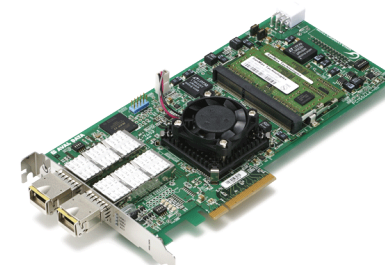
国内トップクラスの実績



欠陥検知や位置決め等に使います。

計測通信機器

産業用通信で最高速



機器間的高速通信に使われます。

アバール長崎

国内市場をリードする

CTI技術

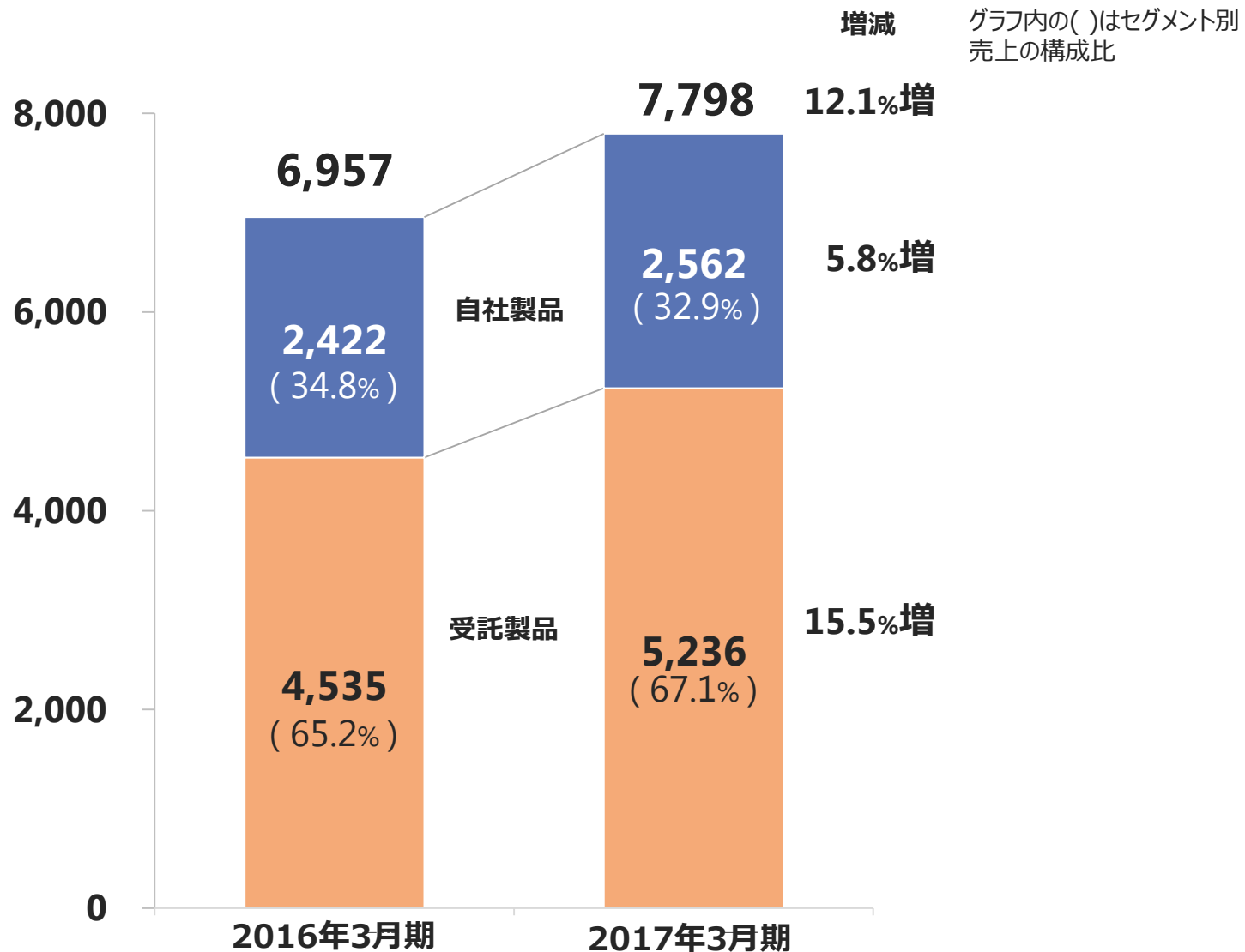


FAX、コールセンター等
で使用されています。



スマートパワーシステム

2017年3月期 セグメント別売上前年対比



自社製品

● 組込みモジュール

FA全般及び医療機器関連における新規受注は堅調に推移するも、CPUモジュール関連の停滞により売上高は減少。

→ 売上高 386百万円（前年同期比15.9%減）

● 画像処理モジュール

各種検査装置においては積極的な新製品開発の推進に加え、食品・医薬品などの新分野開拓も順調。売上高は大幅に増加。

→ 売上高 998百万円（前年同期比25.4%増）

● 計測通信機器

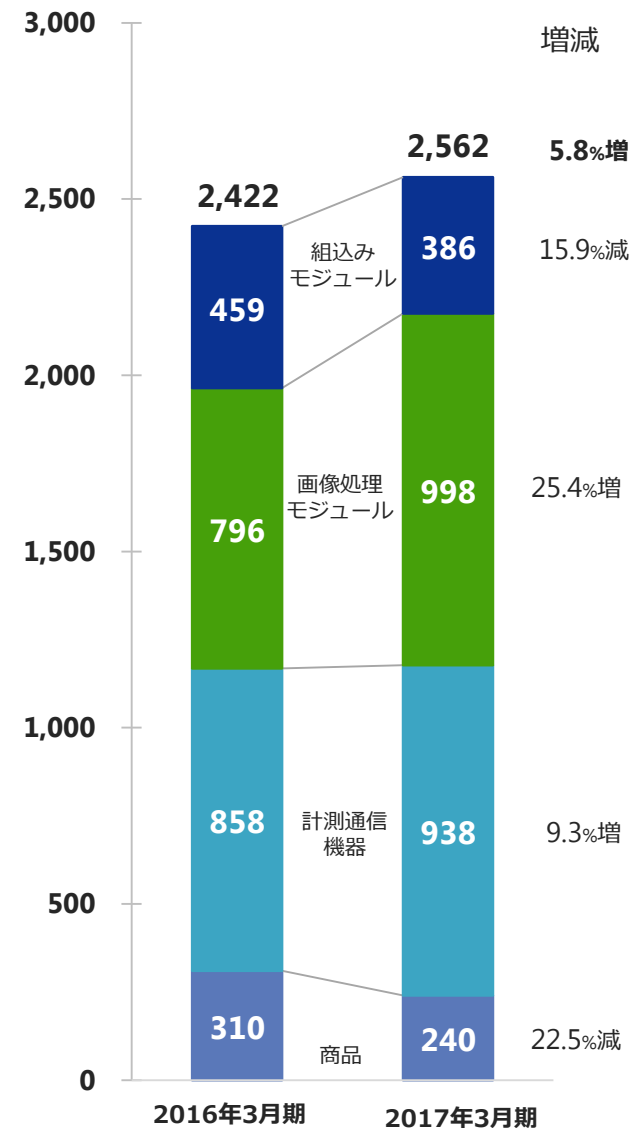
超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」は、新規検査装置向けの開拓が順調に進んだことに加え、第4四半期におけるCTI関連の期末需要により売上高は増加。

→ 売上高 938百万円（前年同期比9.3%増）

● 商品（自社製品関連）

自社製品全般において堅調に推移するも、前年の特需の影響により、売上高は減少。

→ 売上高 240百万円（前年同期比22.5%減）



受託製品

● 半導体製造装置関連分野

大手半導体メーカーの3D-NAND向け設備投資が続くなか、半導体製造装置関連の売上高は大幅に増加。

→ 売上高 3,453百万円（前年同期比26.2%増）

● 産業用制御機器分野

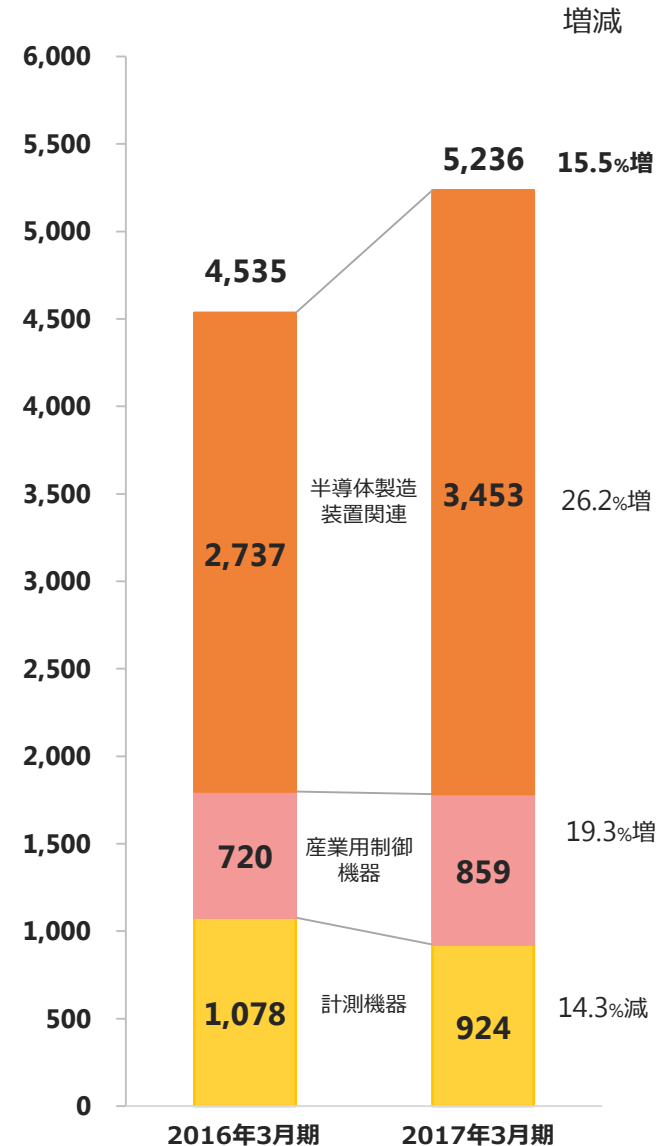
産業用装置の新規展開が順調に進んだことに加え、社会インフラ関連が堅調であったため、売上高は増加。

→ 売上高 859百万円（前年同期比19.3%増）

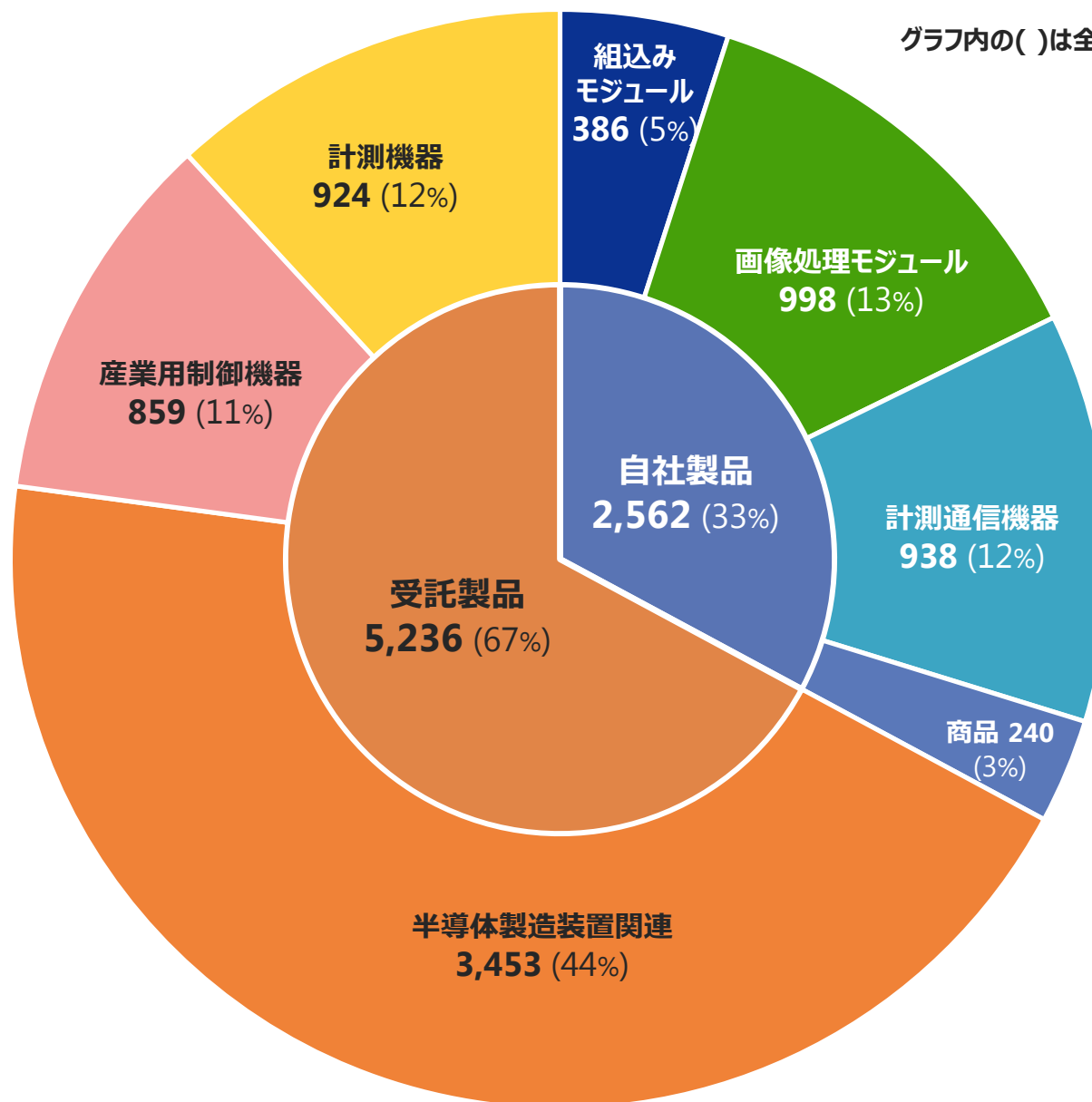
● 計測機器分野

各種計測機器の需要は回復傾向にありますが、省エネ関連機器の一段落により、売上高は減少。

→ 売上高 924百万円（前年同期比14.3%減）

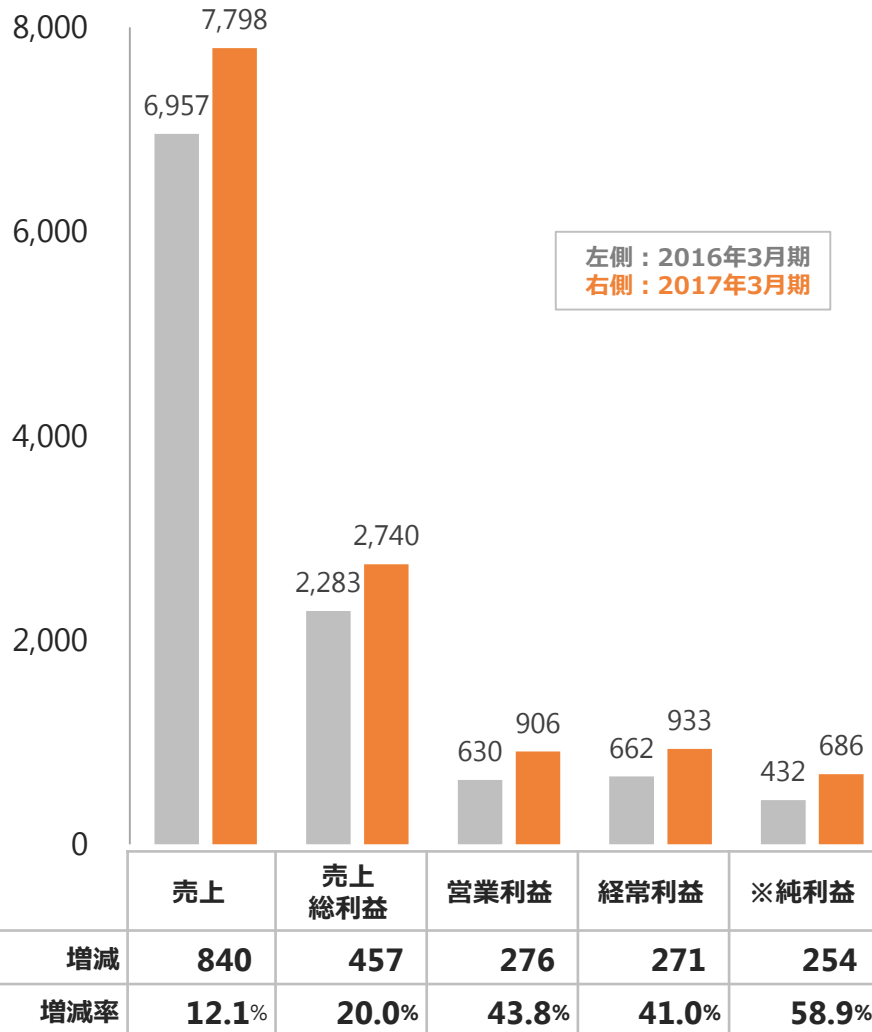


グラフ内の()は全体売上に対する構成比



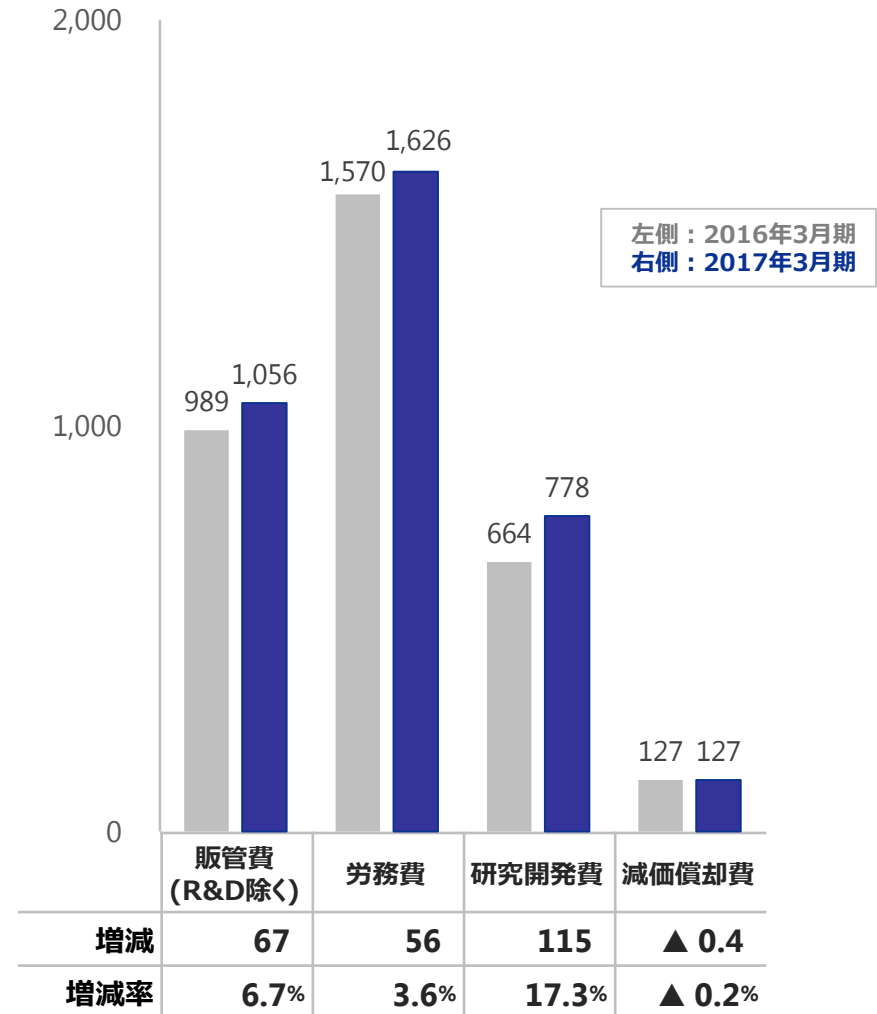
前年対比

売上・利益

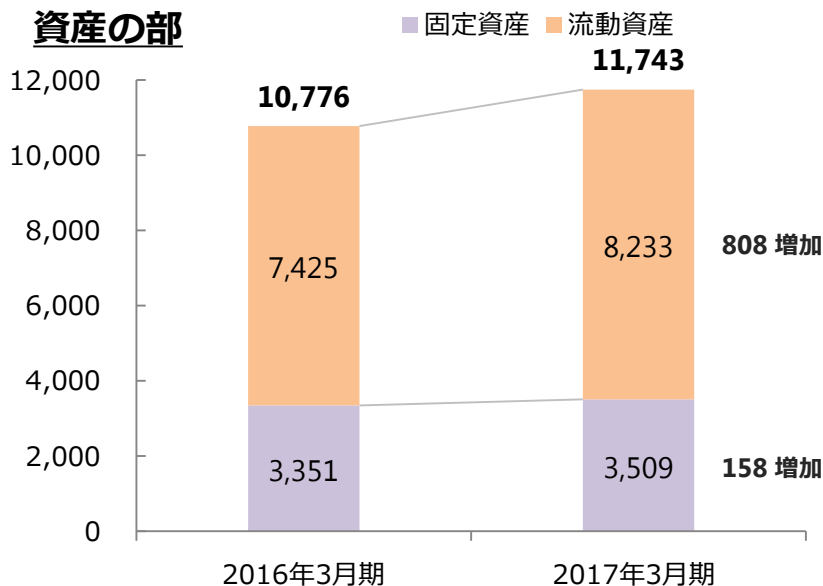


※ 親会社株主に帰属する当期純利益

経費

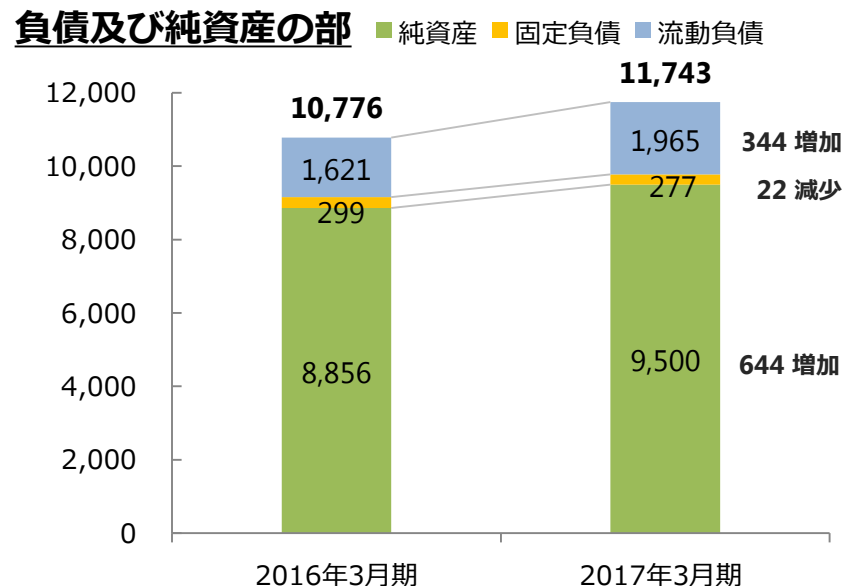


➤ 自己資本比率 75.7%（0.1ポイントアップ）



主な増減

流動資産	808
現金・預金	423
受取手形・売掛金・電子債権	274
棚卸資産	108
固定資産	158
投資有価証券	150
有形・無形固定資産	14



主な増減

流動負債	344
前受金	▲ 81
未払法人税等	30
支払手形・買掛金	391
固定負債	▲ 22
長期借入金	▲ 26
繰延税金負債	30
退職給付引当金	▲ 21
純資産	644

シリーズ強化と利便性追求

新規分野への挑戦

◆ 画像取込
次世代I/F(CoaxPress)カメラを6台接続可能
画像取込モジュールの開発

◆ 画像取込
ディープラーニング向け
高性能GPU搭載画像取込モジュールの開発

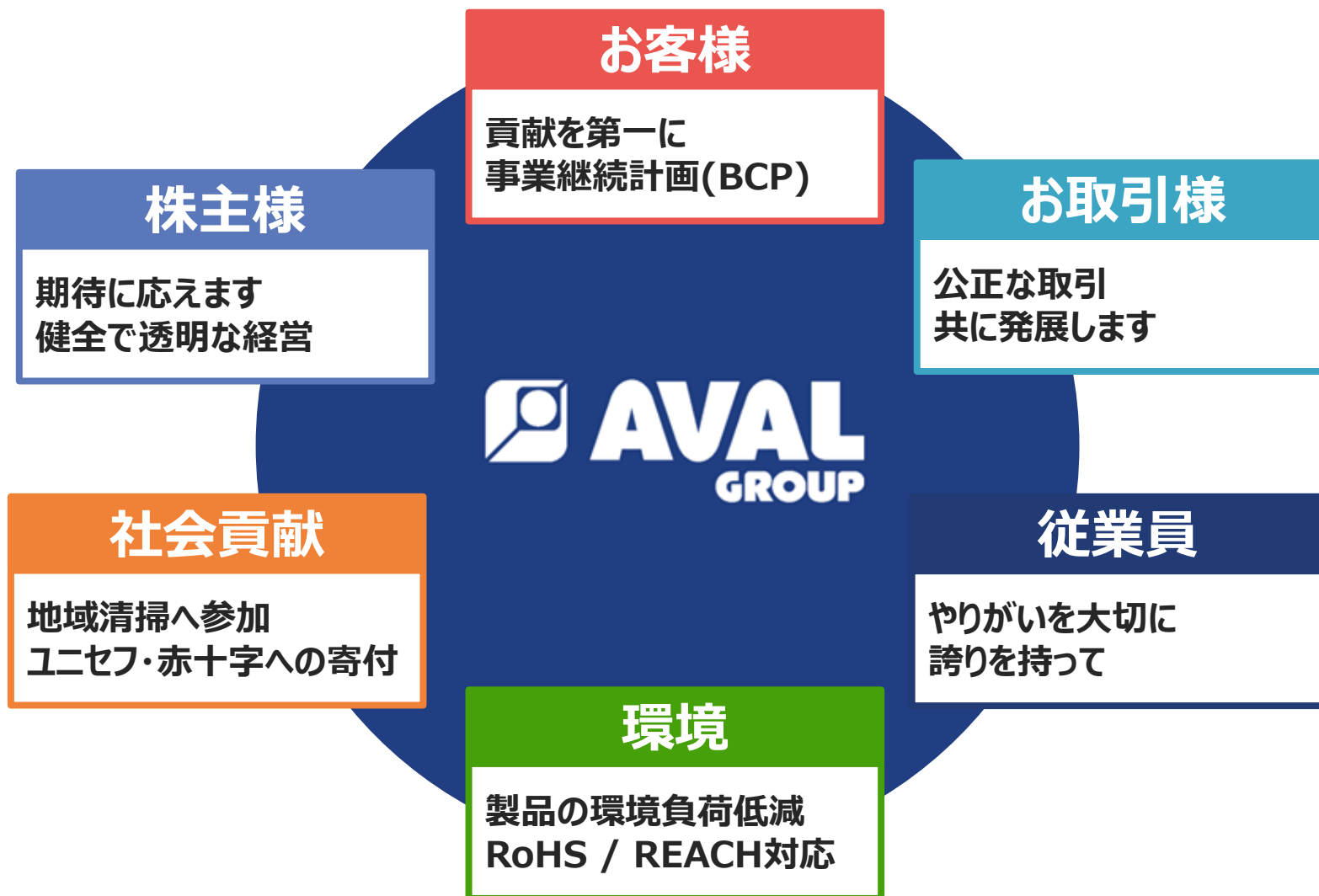
◆ 高速通信
転送速度最大80Gbps
光通信モジュールの開発

◆ 組み込み
医療向け超高速サンプリング(1.8G Sps)
A/D変換モジュールの開発

◆ 画像取込
カラー光切断法のFPGA化による
高速化対応

◆ 近赤外線カメラ
波長950~2550nm
エリアカメラ・ラインカメラの開発

CSR 企業の社会的責任



発行済株式数

7,417,842株

株主数

2,555名
(前期比 234名増)

利益還元に関する考え方

- 安定的な配当にも配慮
- 当期は連結配当性向35%を基本
- 各期の連結業績に応じた利益を配分

配当の実施状況

	57期	58期（予定）
1株当たり配当金	25円	39円
連結配当性向	36.5%	34.2%

子会社及び売却先企業

子会社

株式会社アバール長崎

売却先企業

東京エレクトロンデバイス株式会社

株式譲渡日

2017年7月1日（予定）

法的形式を含む売却の概要

法的形式

株式譲渡

売却する株式の数

133,000株

売却後の持ち分比率

18.7%

売却価額

1,064百万円



東証JASDAQ上場

証券コード
6918

 **AVAL DATA CORPORATION**

決議事項

第1号議案

剰余金の処分の件

期末配当に関する事項

将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、1株につき27円といたしたいと存じます。

- (1) 当社普通株式1株につき 金27円
総額 163,826,415円
(中間配当金を含め1株につき 金39円)

- (2) 剰余金の配当が効力を生じる日
平成29年6月26日

第2号議案

定款一部変更の件

変更理由

- ① 監査等委員会設置会社への移行
- ② 責任限定契約の締結対象取締役の拡大
- ③ 重要な業務執行の決定の委任
- ④ その他

第3号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く) 4名選任の件

- 1 再任 広光 勲
- 2 再任 仲山 典邦
- 3 再任 菊地 豊
- 4 新任 岩本 直樹

第4号議案

監査等委員である取締役3名選任の件

- 1 再任 大塚 忠彦
- 2 再任 金子 健紀
- 3 再任 金澤 健一

第5号議案

取締役(監査等委員である取締役を除く)の 報酬等の額設定の件

当社は監査等委員会設置会社に移行することから、
昨今の経済情勢等諸般の事情を考慮して、
報酬等の額を年額2億円以内といたしたいと存じます。

第6号議案

監査等委員である取締役の報酬等の額設定の件

当社は監査等委員会設置会社に移行することから、昨今の経済情勢等諸般の事情を考慮して、報酬等の額を年額5,000万円以内といたしたいと存じます。